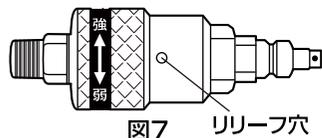


- 本器の外径を握り、「強」の方向に回すと打込み力が強くなり、「弱」の方向に回すと弱くなります。(図7)



「弱」の方向に回して打込み力を弱くするとき、内部圧力調整のため、リリース穴から一時的にエアが排出されることがあります。

- 試し打ちを行いながら適切な深さになるよう「強」「弱」方向に回して調整してください。
- 同じ木材でも軟らかい部分、硬い部分がありますので、釘が木材面よりやや沈む位の位置に調整することをお奨めします。

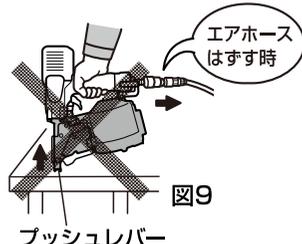
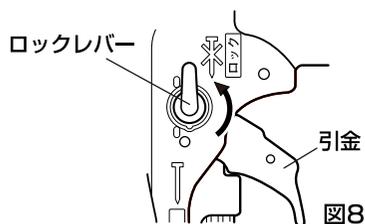
## ご使用後

使用しない場合や作業中断時、使用後は高圧エアホースをはずしてください。

### 警告

高圧エアホースをはずすときは、次のことに注意してください。

- ・釘の不用意な発射を防止するため、引金を必ずロックする。(図8)  
高圧釘打機だけお使いの場合に比べ、本器を取付けた場合は、高圧エアホースをはずした後、機体の残圧がなくなるまで時間がかかります。
- ・引金に手を触れない。
- ・プッシュレバーの先端に触れたり、押し上げた状態にしない。(図9)
- ・射出口を人体に向けない。



## ご修理のときは

本製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらなくて、お買い求めの販売店にご依頼ください。

※(外観などの一部を変更している場合があります。)

工機ホールディングス株式会社

C99520302

**HIKOKI**

# 高圧釘打機用打込調整器

## 取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

## 高圧釘打機用打込調整器使用上のご注意

本製品は、当社高圧釘打機の指定された機種専用の調整器です。ご使用前に下記の事項をよくお読みになり、指示に従って安全に正しくお使いください。

### 警告

- ①高圧エアホースをはずすときは、釘の不用意な発射を防止するため、引金を必ずロックしてください。高圧釘打機だけお使いの場合に比べ、本器を取付けた場合は、高圧エアホースをはずした後、機体内の残圧がなくなるまで時間がかかります。
- ②使用する高圧釘打機の取扱説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- ③使用後は必ず高圧エアホースをはずしてください。また、点検前にも同様に必ず高圧エアホースをはずしてください。
- ④落下させたり、衝撃を加えないでください。
- ⑤最高使用空気圧力は、2.26MPa { 23kgf/cm<sup>2</sup> }です。必ず、最高使用空気圧力以下でご使用ください。
- ⑥本取扱説明書に指定された以外の用途に使用しないでください。  
エアコンプレッサ以外の動力源は使用しないでください。  
本器を圧縮空気以外の高圧ガス（たとえば酸素、アセチレン、プロパンなど）で使用すると、爆発などの危険がありますので、圧縮空気以外は絶対に使用しないでください。
- ⑦使用中のエアもれや高圧エアホースをはずした時の機体内残圧がなくなるまでの時間が長くなるなど、異常を感じたときには、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

## 仕 様

使用空気圧力 1.76~2.26MPa { 18~23kgf/cm<sup>2</sup> }  
 空気圧力調整範囲 約0.98~2.26 MPa(1次圧2.26MPa時)  
 大 き さ 外径 33 mm X 長さ102.5 mm  
 製 品 質 量 約150g

### 使用指定機種

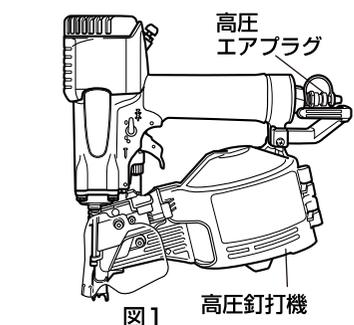
高圧ロール釘打機	NV50H、NV50HMJ、NV65HM、NV65HMJ
高圧仕上釘打機	NT55HM
高圧ピン釘打機	NP45H、NP45HM

※調圧器付きの高圧釘打機等には取付できません。  
 指定された機種、用途以外には使用しないでください。

## 用 途

○ 当社高圧釘打機の指定機種の使用空気圧力調整用  
 (高圧釘打機に取付け、手で空気圧力の調整ができます。)

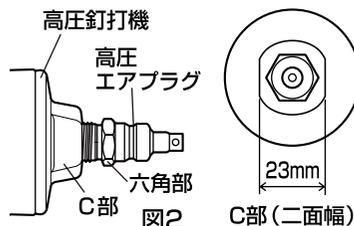
## 取付け方法



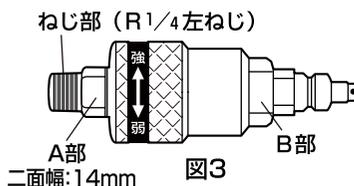
1. 高圧釘打機に付いている高圧エアプラグ (注1) をはずしてください。(図1)  
 (注1) : 高圧エアプラグの取付ねじは左ねじとなっています。時計まわりにまわしてゆるめます。

### 【ご注意】

高圧エアプラグ (注1) をはずす場合、接着剤で堅くなっている場合がありますが、このような時は、高圧エアプラグの六角部を万力などでしっかり固定し、高圧釘打機本体C部 (二面幅23mm) にスパナをかけて、時計まわりにまわしてゆるめてはずしてください。(図2)  
 C部が無い高圧釘打機の場合は高圧釘打機本体を回してはずしてください。



2. 本器のねじ部 (R1/4左ねじ) にシールテープを巻きつけ、スパナでしっかりと高圧釘打機にねじ込んでください。この場合、スパナは必ずA部 (二面幅14mm) にかけてください。B部にかけてますと、本器が損傷する恐れがあります。(図3)



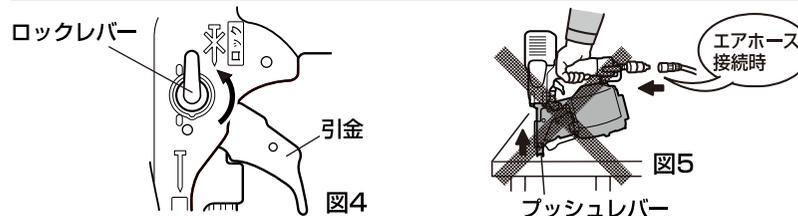
## ご使用前に

1. 空気圧力の確認  
 本器の最高使用空気圧力 2.26MPa { 23kgf/cm<sup>2</sup> } 以下でご使用ください。  
 使用する高圧釘打機、高圧エアホース、エアコンプレッサなど、エア供給に接続された機器、機具が上記最高使用空気圧力以下であることを確認してください。
2. 高圧エアホースの接続

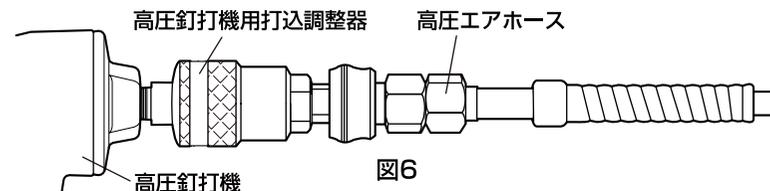
**警告**

本器に高圧エアホースを接続するときは、次のことに注意してください。

- ・釘の不用意な発射を防止するため、引金を必ずロックする。(図4)
- ・引金に手を触れない。
- ・プッシュレバーの先端に触れたり、押し上げた状態にしない。(図5)
- ・射出口を人体に向けない。



本器に高圧エアホースを接続するときは、しっかり接続してください。(図6)



3. 給油について  
 本器を高圧釘打機に取付けた場合も給油の方法は変わりません。  
 エアホース取付口から給油をしてください。  
 (詳細は、高圧釘打機の取扱説明書をご覧ください。)

## 使 い 方

**警告**

・本器で打込み調整をするときは、引金を必ずロックしてください。(図4)

本器は高圧釘打機のハンドル部に取付けますので、手で簡単に空気圧力の調整ができます。高圧釘打機本体のアジャスタの調整と併用し、打込み材の硬さ、釘のサイズなどに合わせて、打込み深さの調整にご使用ください。